平成25年人文学部
教員研究業績一覧（2013. 1. 1―12. 31）
Academic Achievements in 2013 : Faculty of Arts

凡例：

氏名　①著書　②論文・研究ノート　③翻訳　④書評・随筆等　⑤学会・研究会等での報告　⑥上記以外の業績

船津和幸

②１）「『演戯の鏡』飜訳ノート⑹」（『信州大学人文科学研究論集・文化コミュニケーション学科篇』第47号，pp.109–144）［単独］　２）「これが噂のカラリパヤットゥだ！～カラリパヤットゥと空手とダルマのファンタジー～」（『仏教文化』第52号，pp.25–50）［単独］　④「「クリシュナ」の大いなる謎～「アバター」か，「ダーティー・ハリ」か～」（一般財団法人「知と文明のフォーラム」ニューズレター「ヴィラ・マーヤ便り」No.6，2013. 11. 23，pp.4–10）［単独］

金井直

①佐藤直樹編『ローマ　外国人芸術家たちの都』（「カノーヴァとトーヴァルスン」を分担執筆，竹林舎）［共著］　②１）「セノタフとしての近代彫刻」（『ET IN ARCADIA EGO　墓は語るか』展覧会図録，武蔵野美術大学，pp.63–69）［単著］　④１）「『界面』へ　アントニオ・カノーヴァの射程」（『Art Library』，No.14，日本彫刻会，pp.3–10）［単著］　２）「ノリ・メ・タンゲレあるいは彫刻の『物質性』について」（『REAR』30，pp.155–160）［単著］　３）「展開／現像：小林且典の彫刻と写真」（『薄白色の余韻　小林且典』展覧会リーフレット，兵庫県立美術館）［単著］　⑥１）シンポジウム「彫刻と呼ばれる，隠された場所」パネラー（武蔵野美術大学，５月25日）　２）トークセッション「線を遊ぶ，語る　～縄文から現代まで～」パネラー（茅野市美術館，11月23日）

北村明子

④（インタビュー）１）華道2013　７月号　日本華道社　2013. 7. 10 「仕事人の眼」前編　２）華道2013　８月号　日本華道社　2013. 8. 10 「仕事人の眼」後編　３）The Japan Foundation Performing Arts Network Japan "Artist Interview Akiko Kitamura's new horizons, Collaboration with artists from Indonesia"，2013/3/19　４）Cinra.NET「インドネシアと大激突　北村明子×森永泰弘　対談」2013/10/29　⑥（主要舞台研究作品）１）「Float, on」，振付・演出，信州大学人文学部主催，キッセイ文化ホール提携，キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）中ホール，2013/2/7　２）日・ASEAN 友好協力40周年記念事業　インドネシア×日本　国際共同制作公演「To Belong -cyclonicdream-」 振付・演出・出演，茅野市民館マルチホール，Office A/LB 主催，茅野市民館提携　2013/11/28–29　３）平成25年度文化庁大学を活用した文化芸術推進事業　信州大学「往来と創発＝対話と協働から生まれる信州

型舞台芸術マネジメント教育プログラム」，基礎講座／発展演習アートイベント総合プロデュース，茅野市民館，信州大学主催，映像部門2013/9／22，2013/12/8・音楽部門2013/11/22・ダンス部門2013/12/25（ダンス作品，CM，オペラ，映像作品振付・出演） 1）“Ecomotion”振付・出演，株式会社リーテム，監督：二瓶剛，音楽：大友良英，2013/2/26 2）「サクラの森の満開の下でキスして」～デッガード編×レイチェル編～，出演・振付，シアタートラム 提携 ROCKSTAR 有限会社 主催，世田谷パブリックシアター提携 2013/3/29–31 3）まつもと市民オペラ第 4 回公演「Carmen」，振付，まつもと市民オペラ実行委員会，指揮：大勝秀也，演出：加藤直，2013/12/23（ワークショップ，レクチャー） 1）国内ダンス留学@神戸 NPO 法人 DANCE BOX「振付理論と実践」“ダンスはダンスである”2013/7/26～7／30全10回 2）東京都立しいの木特別支援学校 身体ワークショップ 2013/12/27 1回 3）平成25年度文化庁大学を活用した文化芸術推進事業 信州大学「往来と創発＝対話と協働から生まれる信州型舞台芸術マネジメント教育プログラム」ダンス部門基礎講座 1 ・ 2，茅野市民館，信州大学主催 2013/10/30，2013/12/9

早坂俊廣

①『文化都市 寧波』（小島毅監修・早坂俊廣編，東京大学出版会，総282頁）［共著］ ②1）「全祖望と鈔書の精神史」（『信州大学人文学部 人文科学論集〈人間情報学科編〉』第47号，pp.1–15）［単著］ 2）「慈湖の楊簡論」（吉田公平教授退休記念論集刊行会編『哲学資源としての中国思想』，研文出版，pp.206–229）［単著］ ③1）銭明「明代中晩期に吉安で展開された王学講会活動―浙中王門と江右王門との比較から出発して―」（『哲学資源としての中国思想』，pp.184–205）［単独］ 2）「王畿『龍渓王先生会語』訳注 其の十三」（『白山中国学』第19号，pp.1–30）［共著］ 3）「王畿『龍渓王先生会語』訳注 其の十四」（『東洋古典学研究』第35集，pp.143–164）［共著］ 4）「王畿『龍渓王先生会語』訳注 其の十五」（『東洋古典学研究』第36集，pp.147–178）［共著］ ⑤「羞恥的伦理学」（“跨文化视域之儒家伦理研究”国际学术研讨会，2013年12月22日，復旦大学哲学学院）［単独］ ⑥1）講演「儒学思想と家族愛」（長野県日中友好協会「第16期日中関係を考える連続市民講座 中国の歴史・文化と日本」，2013年 1 月26日，日中友好センター教室） 2）『中国文化史大事典』（尾崎雄二郎他編，大修館書店）「道心・人心」「何基」「王柏」「金履祥」「許謙」「北山四先生」「詩疑」「書疑」「白鹿洞書院」「岳麓書院」の全10項目を担当 3）『岩波 世界人名大辞典』（岩波書店辞典編集部編）「汪応辰」「王懋竑」「何基」「丘葵」「胡憲」「胡直」「史蒙卿」「謝応芳」「邵伯温」「石介」「湛若水」「程頤」「程顥」「陶望齢」「馮柯」「方逢辰」「楊起元」「楊東明」「余靖」「来知徳」「李籲」「劉絢」「呂希哲」「婁諒」の全24項目を担当

三谷尚澄

①『若者のための〈死〉の倫理学』（ナカニシヤ出版，258頁）［単著］ ②「人類学と形而上学のあいだで―社会プラグマティズムとセラーズ派哲学者たちのカント」（『日本カント研究14：カントと政治哲学の可能性』，pp58–73）［単著］ ⑤ On Sellarsian Realism（XXIII World Congress of Philosophy, University of Athens, Greece, 8 月 7 日）［単独］ ⑥1）「若者のための〈死〉の倫理学―いま（さら）哲学／人文学（なんか）に何ができる（というの）か？」

（信州大学人文学部公開講座：第65回夕べのセミナー，７月18日） ２）「若者のための〈死〉の倫理学」（教員免許講習，信州大学，７月27日） ３）応用哲学会，京都大学応用哲学・倫理学教育研究センター・信州大学人文学部哲学・思想論分野共催，サマースクール2013『哲学者のための圏論入門』主催 ４）科学研究費補助金（若手研究Ｂ）「若きセラーズの思想形成過程の解明」に基づく研究を研究代表者として実施

護山真也
②１）「ラトナキールティの存在論―パティルが提起した対象の四分類に対する批判的検討」，『人文科学論集＜人間情報学科編＞』第47号，pp.17–38［単著］ ２）"Ratnākaraśānti's criticism of the Madhyamaka refutation of causality," *China Tibetology No. 1, March 2013*, pp.53-66［単著］ ３）"On the role of *abhyupagama* in Dharmakīrti's scripturally based inference," V. Eltchinger, H. Krasser (eds.), *Scriptural authority, reason and action. Proceedings of a panel at the 14th World Sanskrit Conference, Kyoto, Sept. 1-5, 2009*. Wien, pp.183-207［単著］ ④１）「第五回 北京国際チベット学セミナー会議報告――サンスクリット・パネルを中心として」，『東方学』126号，pp.158–164［単著］ ２）"Some Periodizations of Indian Philosophy in Japanese Publications," Appendix to Eli Franco, "On the Periodization and Historiography of Indian Philosophy," E. Franco (ed.), *Periodization and Historiography of Indian Philosophy*, Wien, pp.26-31［単著］ ⑤１）"Utpaladeva's criticism of the Sāṅkhya theory of causation and liberation," (International Conference: Around Abhinavagupta - Aspects of the Intellectual History of Kashmir from the 9th to the 11th Centuries, at Leipzig University, 10. June, 2013) ２）"On *sattopalambhavāda* or an Indian version of "*esse* is *percipi,*"" (The 23rd World Congress of Philosophy, University of Athens, 7. August)

澤木幹栄
②「孤例についての諸問題」（『大規模方言データの多角的分析 成果報告書 ―言語地図と方言談話資料』国立国語研究所共同研究報告 12–5，pp93–102〔単著〕），Dialect dictionary in a DVD (Dialectlogia. Special issue. 2013, 4, p.213-219, 2013-2247.〔単著〕 http://www.publicacions.ub.edu/revistes/dialectologiaSP2013/） ⑤長野言語文化研究会「JPOP の日本語」12月14日⑥安曇野市民大学講演「JPOP の日本語」11月13日

菊池聡
①１）『科学技術をよく考える』名古屋大学出版会［共著］ ２）『謎解き超科学』彩図社［共著］ ３）『絶対役立つ教養の心理学 展開編』ミネルヴァ書房［共著］ ②『疑似科学からの批判的思考入門』心理学ワールド，61号，13–16［単著］ ④『PEN SELECTION CINEMA レッドライト』PEN，２月15日号［単著］ ⑤１）「学校教員と生徒の超常信奉と科学への態度」日本教育心理学会第56回大会 法政大学，８月18日［単独］ ２）「超常信奉に対するコントロール幻想と確率判断の影響」日本心理学会第77回大会 北海道医療大学，９月19日［単独］ ⑥１）「わかりやすい表現を実現する」（安曇野市情報活用学セミナー，１月11日） ２）「適切な情報分析と意思決定のためのクリティカルシンキング入門」（安曇

野市情報活用学セミナー，１月25日） ３）「NPO スタッフのための仕事のコツ講座」（愛知県公共支援事業基金セミナー，１月26日） ４）「前向きに日常生活を生きるコツ」（茅野市米沢地区まちづくり講演会，２月15日） ５）「人はなぜ不思議なことを信じてしまうのか 超常現象の認知心理学」（ケンブリッジ日本人会講演，６月２日） ６）「ポジティブに生きるための心理学」（篠ノ井高等学校犀峡校キャリアガイダンス：信州大学出前講座，７月18日） ７）「ポジティブに生きるための心理学」（大町・北安曇小中学校事務研究会夏期研修会：信州大学出前講座，７月29日） ８）「ポジティブに生きるための心理学」（東筑摩郡塩尻市小中学校事務研究会研修会：信州大学出前講座，８月２日） ９）「だまされる心の心理学」（塩尻市立東小学校 PTA 講演会：信州大学出前講座，８月27日） 10）「ポジティブに生きるための心理学」（須坂市日野地域づくり講演会：信州大学出前講座，８月30日） 11）「ポジティブに生きるための心理学」（丸子公民館こどもの明日を考える集い：信州大学出前講座，11月14日） 12）「ポジティブに生きるための心理学」（飯水保健師研修会：信州大学出前講座，11月15日） 13）「わかりやすい表現を実現する コミュニケーションを活性化する認知心理学」 安曇野市情報活用学セミナー，11月15日） 14）「だまされる心の心理学」（長野シルバー人材センター全会員研修会：信州大学出前講座，11月21，22日，12月12日） 15）「だまされる心の心理学」（木曽青峰高校理数科高大連携講座：信州大学出前講座，11月28日）

佐藤広英

②１）「The effect of fatigue on the attentional blink」（Attention, Perception, & Psychophysics, 75, 1096-1102）［共著］ ２）「インターネット版プライバシー次元尺度の作成」（パーソナリティ研究，21，312–315）［共著］ ３）「インターネット上におけるプライバシーを感じる内容とプライバシー対策行動：プライバシー意識との関連から」（信州大学人文学部人文科学論集〈人間情報学科編〉，47，129–138）［共著］ ４）「プライバシーを感じる内容とその理由の関係」（人間科学（常磐大学人間科学部紀要），30，133–141）［共著］ ⑤１）「Switching IAT によるストレス状態の反復測定」（日本心理学会第77回大会，札幌コンベンションセンター，９月20日）［共同］ ２）「プライバシー意識尺度の妥当性の再検討」（日本心理学会第77回大会，札幌コンベンションセンター，９月20日）［共同］ ３）「SNS プロフィールからパーソナリティは推測できるか？」（日本パーソナリティ心理学会第22回大会，江戸川大学，10月12日）［単独］ ４）「インターネット行動とプライバシー次元の関連」（日本社会心理学会第54回大会，11月２日）［共同］ ⑥１）社会言語科学会・学会誌編集委員会委員（2013年４月～2016年３月） ２）社会言語科学会・第32回大会実行委員会委員（2013年９月） ３）日本パーソナリティ心理学会・経常的研究交流委員会委員（2011年10月～2014日10月）同副委員長（2012年10月～2014年10月） ４）「インターネット上における中高校生のプライバシー意識と問題行動に関する心理学的研究」（財団法人電気通信普及財団平成24年度研究調査助成受賞，2013年４月～2014年３月） ５）「プライバシーの心理学：人はなぜ自分を「かくす」のか？」（信州大学人文学部第64回夕べのセミナー，松本中央公民館Mウイング，２月９日） ６）「インターネットがつなぐ人と社会」（安曇野市市民大学講座（信州大学編），穂高会館，10月17日） ７）「インターネットの心理学」（信州大学出前講座，

伊那市立長谷小学校，11月27日）

辻竜平
②１）「交際他者の多様性とその規定因：ポジション・ジェネレータを用いて」（『人文科学論集〈人間情報学科編〉』47：115–128.）［単著］　２）「社会ネットワーク調査から見えるもの，調査法上の問題，そして展開可能性」（『社会と調査』10：5–8.）［単著］　３）「座談会「ネットワーク調査の問題と展開可能性」」（『社会と調査』10：9–37）［共著］　⑤１）「クラシック音楽の選好からみた分類と諸要因との関係：「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」オーディエンス調査から」（３月19日，数理社会学会第55回大会，東北学院大学）［単独］　２）「クラシック音楽文化資本の収入に対する世代効果：「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」オーディエンス調査より」（８月28日，数理社会学会第56回大会，関西学院大学）［単独］　３）「文化資本獲得と社会関係資本形成との関係性：「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」オーディエンス調査より」（10月13日，日本社会学会第86回大会，慶應義塾大学）［単独］　⑥１）『地方小都市における地域再生への課題と取り組み』（信州大学人文学部社会学研究室）［共編著］　２）『安曇野市の美術館・博物館利用に関わる調査：市民と観光客に対する調査の比較分析』［単著］

水原俊博
②論文「消費主義者の政治問題関心――私生活化の展開／からの転回？」［単著］，グローバル消費文化研究会『ポスト・グローバル消費社会の動態分析――脱物質主義化を中心として』科学研究費補助金（基盤研究Ｂ）研究成果報告書，pp.37–50（2013. 3）　⑤学会報告「後期ボードリヤールの社会理論の社会学的検討――透明性，無，悪，不可能な交換」［単独］，第86回日本社会学会大会，於：慶応大学（三田キャンパス）（2013. 10. 12）　⑥１）経済社会学会第49回全国大会，B8 自由論題，討論者，於：大阪商業大学（2013. 9. 23）　２）Lecture, The Effects of Consumerist Attitudes on the Political Citizenship: Consumerists Go to Vote in the National Election or Go Shopping Weekend?, School of Social Development, East China Normal University, 22.11.2013［単独］

今井章
②１）「事象関連電位によるデルブーフ錯視の検討⑷―外円が分割，短縮する条件における脳の応答について―」信州大学人文学部人文科学論集〈人間情報学科編〉，47，39–51頁［単著］　２）「追視運動が無意図的同期に及ぼす影響」信州大学人文学部人文科学論集〈人間情報学科編〉，47，69–75頁［共著］　⑤１）「脳磁図によるベータ運動の検討―形の変化による電源活動―」 日本視覚学会2013年冬季大会，Vision，25，54–55頁（１月23日，工学院大学）［共同］　２）「表情と情動性音声との一致性が事象関連電位に及ぼす効果」日本生理心理学会第31回大会プログラム・予稿集，39–39頁（５月18日，　福井大学）［共同］　３）「表情操作が感情と皮膚温に及ぼす影響」日本生理心理学会第31回大会プログラム・予稿集，35–35頁（５月18日，福井大学）［共同］　４）「色変化によるベータ運動観察時の脳磁界活動」第28回日本生体磁気学会大会発表，日本生体磁気学会誌，26（特別号），252–253頁（６月８

日，新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ））［共同］　5）「視覚情報の強調がマガーク効果に与える影響」日本認知心理学会第11回大会発表論文集，126–126頁（6月30日，つくば国際会議場（筑波大学））［共同］　6）"A magnetoencephalographic study on the components of event-related fields in an apparent motion illusion with changing stimulus shape and color." Perception, 42 (Supplement), 209-209. (The 36th European Conference on Visual Perception; 2013.8.28, Bremen)［共同］　7）「呼吸統制が演奏開始の一致度に及ぼす影響」日本認知科学会第30回大会発表論文集（CD-ROM）（9月13日，玉川大学）［共同］　8）「画像刺激の色の調和性が再認記憶と事象関連電位に及ぼす効果」日本認知科学会第30回大会発表論文集（CD-ROM）。（9月14日，玉川大学）［共同］　9）「デルブーフ錯視による事象関連電位⑸―内円が分割・短縮される事態における検討―」日本心理学会第77回大会発表論文集，495–495頁（9月19日，札幌国際会議場（北海道医療大学））［単独］　10）「不決断傾向とサポートタイプが意思決定場面における情報探索にあたえる影響」日本心理学会第77回大会発表論文集，199–199頁（9月19日，札幌国際会議場（北海道医療大学））［共同］　11）「知覚運動情報が行為文一致効果に及ぼす影響」日本心理学会第77回大会発表論文集，838–838頁（9月21日，札幌国際会議場（北海道医療大学））［共同］　12）「文脈の一致性がラグ数判断課題の成績と事象関連電位に及ぼす影響」日本基礎心理学会第32回大会発表プログラム，62–62頁（12月8日，金沢市文化ホール（金沢大学））［共同］　⑥1）独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成24年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について―安全運転のために―』」（1月17日，長野県松本文化会館）［単独］　2）独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成25年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について―安全運転のために―』」（7月4日，長野県松本文化会館）［単独］

岡本卓也

①『コミュニティの社会心理学』ナカニシヤ出版（2013年12月）［共編著］　②「コミュニティ意識尺度（短縮版）の開発」（『実験社会心理学研究』53⑴，22–29）［共著］　⑤1）「写真・ナラティブ誘出法（Photo Eliciting Narrative Approach: PEN-A）による地域環境認知把握の試み」（日本環境心理学会第6回大会，環境心理学研究1巻，76　武蔵野大学，2013年3月）［共同］　2）「居場所感尺度の作成」（日本感情心理学会第21回大会発表論文集，37，東北大学，2013年5月）［共同］　3）「居住地イメージによるPlace Identityの違い」（日本コミュニティ心理学会第16回大会発表論文集，92–93，慶応大学，2013年7月）［共同］　4）「不決断傾向とサポートタイプが意思決定場面における情報探索にあたえる影響」（日本心理学会第77回大会，199，札幌コンベンションセンター，2013年9月）［共同］　5）「観光動機の違いが観光情報収集と訪問地選択に与える影響」（日本心理学会第77回大会，244，札幌コンベンションセンター，2013年9月）［単独］　6）「首都圏における地域コミュニティの現状⑴―コミュニティ価値の地域間比較―」（日本社会心理学会第54回大会，249，沖縄国際大学，2013年11月）［共同］　7）「首都圏における地域コミュニティの現状⑵―Place Identityやコミュニティ意識が定住意図に与える影響―」（日本社会心理学会第54回大会，250，沖縄国際大学　2013年11月）［共同］　8）「首都圏における地域コミュニティの現状⑶―コミュ

ニティ活動への参加の現状と今後の方向性―」（日本社会心理学会第54回大会，251，沖縄国際大学，2013年11月）［共同］ 9）「態度構造の三次元空間モデル(5) 縦断的ソシオメトリックデータの分析例」（日本社会心理学会第54回大会，54，沖縄国際大学，2013年11月）［共同］ 10）「児童相談所における情報共有に関する研究―ケース記録の電子化の実態―」（日本子ども虐待防止学会第19回学術集会，229，信州大学，2013年12月）［共同］ 11）「イノベーション政策に資する公共財としての水資源保全とエネルギー利用に関する研究―社会科学的視点から見た設置の問題―」（第13回 信州小水力会議，信州大学，2013年10月）［単独］ ⑥2013年度コミュニティ心理学会研究委員会企画シンポジウム「コミュニティマネジメントにおける写真の活用」話題提供「写真投影法による子どもの危険認知の把握と地域安全マップの作成」（慶応大学，2013年７月）

清水健司

①『パーソナリティ心理学ハンドブック』，企画：日本パーソナリティ心理学会，編集：二宮克美，浮谷秀一，堀毛一也，安藤寿康，藤田主一，小塩真司，渡邊芳之，［共著］（第３部 パーソナリティと精神的健康，14章 パーソナリティと対人関係上の問題，５節 対人恐怖・対人不安・社会不安を分担執筆） ②「“２種類の自己愛”モデルにおける相互関係の検討」信州大学人文学部人文科学論集〈人間情報学科編〉，47，pp.53-67［共著］ ⑤１）「自己愛と無意識過程 精神分析学とパーソナリティ・社会心理学の接点―」（日本心理学会第77回大会 公募ワークショップ，札幌コンベンションセンター ９月）［共同］ ２）「森田療法理論における“とらわれ”の実証的検討」（日本心理学会第77回大会発表論文集，p.37 札幌コンベンションセンター ９月）［共同］ ３）「The Influence of Response Styles on Excuse-Maker's Motivation.」（14th Annual Meeting of Society for Personality and Social Psychology, New Orleans, LA. January）［共同］ ４）「対人恐怖と自己愛の相互関係モデルにおけるバウムテスト指標」（日本心理臨床学会第32回秋季大会発表論文集，p.334 パシフィコ横浜 ８月）［共同］ ５）「自己愛傾向と反映的自己評価のあり方における安心さがしの効果」（日本教育心理学会第55回大会発表論文集，p.282 法政大学 ８月）［共同］ ６）「安心さがしとソーシャル・サポートにおける入手・提供可能性との関係」（日本教育心理学会第55回大会発表論文集，p.278 法政大学 ８月） ⑥１）「長野県松本蟻ヶ崎高校 大学学部説明会講師 ６月」 ２）「長野県長野西高校 大学模擬講義講師 ６月」 ３）「全国国公立・有名私立相談会2013東京会場（池袋サンシャイン）説明講師 ７月」 ４）「長野県諏訪清陵高校 大学説明会講師 ８月」 ５）「長野県野沢北高校 大学インターンシップ講師 ９月」 ６）「信学会 松本会場 大学説明会講師 10月」 ７）「松本県ヶ丘高校 大学模擬講義講師 10月」 ８）「長野県松本蟻ヶ崎高校 大学学部説明会 10月」

高瀬弘樹

②「追視運動が無意図的同期に及ぼす影響」（人文科学論集〈人間情報学科編〉，47，69-75.）［共著］ ⑤１）「表情操作が感情経験と皮膚温に及ぼす影響」（第31回日本生理心理学会大会，５月18日，福井大学）［共同］ ２）「表情と情動性音声との一致性が事象関連電位に及ぼす効果」（第31回日本生理心理学会大会，５月18日，福井大学）［共同］ ３）「協調系

としての呼吸から見えてくるもの」（第31回日本生理心理学会大会，５月19日，福井大学）［単独］　４）「色変化によるベータ運動観察時の脳磁界活動」（第28回日本生体磁気学会大会，６月７日，新潟市朱鷺メッセ）［共同］　５）「発声音と手の運動の協調」（日本認知心理学会第11回大会，６月30日，つくば国際会議場）［共同］　６）「視覚情報の強調がマガーク効果に与える影響」（日本認知心理学会第11回大会，６月30日，つくば国際会議場）［共同］　７）「A magnetoencephalographic study on the components of event-related fields in an apparent motion illusion with changing stimulus shape and color」（36th European Conference on Visual Perception in Bremen, Germany, August 28th）［共同］　８）「呼吸統制が演奏開始の一致度に及ぼす影響」（日本認知学会第30回大会，９月13日，玉川大学）［共同］　９）「画像刺激の色の調和性が再認記憶と事象関連電位におよぼす効果」（日本認知学会第30回大会，９月13日，玉川大学）［共同］　10）「知覚運動情報が行為文一致効果に及ぼす影響」（日本心理学会第77回大会，９月21日，札幌コンベンションセンター）［共同］

長谷川孝治

②１）外向―内向性がソーシャル・サポート過程と精神的健康に及ぼす効果　人文科学論集〈人間情報学科編〉，47，77–91.［単著］　⑤１）低自尊心者の安心さがしは，なぜ拒絶されるのか　―自己開示の観点からの検討―（日本グループ・ダイナミックス学会第60回大会，７月14日，北星学園大学）［共同：長谷川孝治・鎌田真緒］　２）自己開示と友人のオープナー特性が印象評価及び関係満足度に及ぼす影響（日本心理学会第77回大会，９月19日，札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター）［共同：鎌田真緒・長谷川孝治］［共同］　３）　第二反抗期尺度の作成および親の養育態度との関連（日本心理学会第77回大会，９月20日，札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター）［共同：杉山宙・長谷川孝治］［共同］　⑥１）日本社会心理学会「社会心理学研究」編集委員　2011年４月～2015年３月

久保亨

①１）「近代中国経済政策与経済発展，1930–1960年代」〔単著〕（呉淑鳳他編『近代国家的型塑：中華民国建国100年国際学術討論会論文集』上冊，国史館，2013年）285–304頁。　２）歴史学研究会編『世界史史料』第12巻〔共編〕，岩波書店，2013年（第12巻編集委員の１人）。　３）「戦後東アジア綿業の複合的発展」〔単著〕（秋田茂編『アジアからみたグローバルヒストリー』ミネルヴァ書房，2013年11月）258–282頁。　４）「華北地域概念の形成と日本」〔単著〕（本庄比佐子・内山雅生・久保亨共編『華北の発見』東洋文庫，2013年12月）5–33頁。　④１）書評〔共著〕味岡徹，久保亨，嵯峨隆共同執筆「書評・『新編　原典　中国近代思想史』全７巻」　２）『近代中国研究彙報』㉟：2013年，179–210頁　３）書評〔単著〕「書評・丸川知雄著『現代中国経済』」『週刊　読書人』，第3014号，2013年11月８日。　⑤１）「戦時中国的工業発展」〔単独〕，『第二次世界大戦背景下的中日戦争―中日戦争国際共同研究第五次会議』2013年９月14–15日，〔重慶〕中国社会科学院近代史研究所・西南大学共催。　２）「蘇俄在戦時中国：重慶国民政府経済専家眼中的蘇連経済」〔単独〕，『国共関係与中日戦争国際研討会』2013年11月１－３日，〔台北〕中央研究院近代史研究所主催。　３）「1950年代

の中国経済と日中関係」〔単独〕，シンポジウム「人民共和国史―今どこまで解明されるのか」2013年12月７日，〔京都〕京都大学人文科学研究所現代中国研究拠点主催。 ⑥１）華東師範大学〔単独〕，講演「1940–50年代的中国経済史与日本」2013年４月１日。 ２）大阪経済大学〔単独〕，講演「1930年代の中国と日中経済関係―国歌になる歌が生まれた時代」，2013年７月13日。

笹本正治

①１）『開催記念講演会　記録集　松本あめ市―歴史と伝説―』［単著］（１月28日，松本市立博物館） ２）『長野県飯山市小菅の里　柱松ガイド』［共著］（３月９日，飯山市文化遺産保存活用実行委員会） ３）『伊東の自然と災害　伊東市史　別編』［共著］（３月10日，静岡県伊東市） ４）『水で結ばれたふるさと　安曇野風土記Ⅰ』［単著］（３月29日，安曇野市） ５）『牛伏寺誌　歴史篇』［共著］（牛伏寺誌刊行会，12月15日） ④１）「地名は災害教訓」［単著］（１月７日，『中日新聞』） ２）「信州『知の森』の文化遺産を一堂に」［単著］（３月29日，『信州「知の森」の文化遺産』，国立大学法人信州大学） ３）「災害と地名―地名に期待する―」［単著］（５月１日，『伊那谷の地名３　風土と人びとを結ぶ文化』巻頭，伊那谷地名研究会） ⑥１）「街づくりは歴史認識から―故郷づくりと心の豊かさ―」［単独］（２月３日，須坂市博物館・旧上高井郡役所・市誌編さん室の連携「歴史文化講座」，中央公民館３階ホール） ２）「殿村遺跡とその時代―虚空蔵山城と中ノ陣城から見た戦国時代―」［単独］（３月16日，松本市教育委員会，松本市四賀支所ピナスホール） ３）「木更津の鋳物師と全国の鋳物師支配」［単独］（３月30日，千葉県木更津市郷土博物館　金のすず，同左） ４）「井川城をめぐって」［単独］（４月14日，鎌田地区公民館，同左） ５）「辰野町の石造文化財をめぐって」［単独］（４月27日，辰野町石造物調査会，辰野町民会館２階大会議室） ６）「川中島合戦に一騎打ちはなかった―歴史認識とふるさと―」［単独］（５月８日，北見市生涯学習課・北見文化連盟，北見市民会館小ホール） ７）「土地の記憶―地名と歴史―」［単独］（５月18日，伊那谷地名研究会，飯田市美術博物館講堂） ８）「日本の『聖』と『賤』」［単独］（８月６日，「人権リーダー養成・部落問題基礎講座」，長野市中央隣保館） ９）「大桑村の文化と景観」［単独］（９月８日，大桑村公民館，大桑村中央公民館） 10）「松本城について」［単独］（９月27日，甲信越環境測定機関協議会，東急イン） 11）「武田氏館と信玄の日常生活」［単独］（９月30日，甲府市教育委員会，山梨県立図書館多目的ホール） 12）「安曇野の未来」［単独］（10月18日，安曇野市教育委員会，安曇野市穂高交流学習センター「みらい」） 13）「松本の災害と文化財」［単独］（11月２日，地震災害から文化財を守る協議会・NPO 災害から文化財を守る会，あがたの森文化会館講堂） 14）「地域の魅力を認識した地域づくり―飯山市小菅の場合―」［単独］（11月13日，文部科学省科学技術・学術政策研究所・信州大学，信州大学松本キャンパス人文・経済合同棟 6F 会議室） 15）「小菅の文化的景観の魅力」［単独］（11月20日，信州大学地域戦略センター・飯山市教育委員会，小菅農業集落改善センター） ⑥（パネルディスカッション等）１）戦国文化シンポジウム「戦国文化をめぐってーパネルディスカッション」パネリスト（４月14日，国民文化祭・やまなし，東京エレクトロン韮崎文化ホール） ２）第17回地震・火災フォーラム「松本の文化財を守るために私たちにできること」コメンテーター（11月２日，地震災害から文

化財を守る協議会・NPO 災害から文化財を守る会・あがたの森文化会館講堂）　3）「小菅の文化的景観シンポジウム」パネリスト（11月20日，信州大学地域戦略センター・飯山市教育委員会，小菅農業集落改善センター）　4）シンポジウム「私が選ぶ　須坂百景」コーディネーター（11月23日，須高ケーブルテレビ株式会社，須坂市文化会館メセナホール）　5）「地域から信州大学へ，信州大学から地域へ」コーディネーター（12月２日，信州大学，メルパルク長野）

山本英二

①１）「小寺玉晁」（小松史生子編『東海の異才・奇才列伝』，風媒社，pp.96–101）［共著］　②１）「続・高校教科書で学ぶ日本史」（『中野下高井教育』42号，pp.208–230［単著］　２）「近世史の名著」（『歴史評論』757号，pp.20–25）［単著］　３）「『慶安の御触書』は実在しない」（『文藝春秋』91巻12号，pp.311–312）［単著］　⑤１）歴史学研究会近世部会月例会報告「朴澤直秀報告批判」（東京都千代田区・明治大学リバティータワー，９月21日）　⑥１）講座「徳川将軍で学ぶ江戸時代―吉宗・家重・家治・家斉―」（名古屋市・栄中日文化センター，１月25日，２月15日，３月15日）［単独］　２）講座「徳川将軍で学ぶ江戸時代―家慶・家定・家茂・慶喜」（名古屋市・栄中日文化センター，４月19日，５月17日，６月21日，７月19日，８月30日，９月20日）［単独］　３）講座「江戸時代の謎と不思議」（名古屋市・栄中日文化センター，10月18日，11月15日，12月20日）［単独］　４）愛知大学文学部春学期非常勤講師「古文書読解」　５）日本古文書学会編集委員　６）徳川林政史研究所特任研究員　７）関東近世史研究会評議員

大串潤児

①１）安田常雄編・大串潤児ほか編集協力［共編著］『シリーズ戦後日本社会の歴史』第２巻・社会を消費する人びと，岩波書店，2013年１月，225頁。　２）伊藤純郎編『究極の中学校　社会科―歴史編』日本文教出版，2013年１月［共著］，第６章「概説　現代とは」（150～153頁）を分担執筆。　３）安田常雄編・大串潤児ほか編集協力［共編著］『シリーズ戦後日本社会の歴史』第４巻・戦後日本の縁，岩波書店，2013年３月，286頁。　４）成田龍一・原田敬一・荒川章二・大串潤児ほか［共著］『新日本史Ａ』実教出版，2013年３月文部科学省検定済高等学校日本史Ａ教科書，191頁。　５）飯田市歴史研究所編［共著］『飯田・上飯田の歴史』下巻，同，2013年３月，第７章第１節「総説」（248～253頁），第３節「占領と民主化」（260～265頁），第８章第２節「安保闘争と市中デモ」（292～297頁），第３節「文化運動と公民館」（298～303頁）を分担執筆。　６）大串潤児編［単編著］『近現代安曇野の地域文化と平和文化』（安曇野市と信州大学人文学部の連携協定に基づく共同研究報告書），信州大学人文学部大串研究室，2013年３月，172頁。　②１）大串潤児［単著］「「戦後」地域社会運動についての一試論」『日本史研究』第606号，2013年２月，151～179頁。　２）大串潤児［単著］「家族・女性にとっての「満蒙開拓青少年義勇軍」」長野県歴史教育者協議会編『第３回「満蒙開拓青少年義勇軍」シンポジウム記録集　家族からみた義勇軍』同会，2013年２月，48～60頁。　３）大串潤児［単著］「戦後子ども論」安田常雄編『シリーズ戦後日本社会の歴史』第４巻・戦後日本の縁，岩波書店，2013年３月，101～129頁。　４）大串潤児［単

著]「人びとにとっての憲法―歴史的検討の課題」『月刊東京』第347号，2013年８月，15～23頁。 ④１）大串潤児［単著］「書評　ニコラス・ファレル／柴野均訳『ムッソリーニ』（上下・白水社，2011年）」『信大史学』第38号，2013年11月，90～95頁。 ⑤１）大串潤児［単独］「2012年度・『新日本史Ａ』についての検定」シンポジウム「歴史教科書　いままでとこれから　PART IX」，2013年６月16日，於・東京大学農学部。 ２）大串潤児［単独］「再考・歴史的思考力」全国歴史教育研究協議会第54回全国大会第３分科会コメント，2013年７月31日，於・ワークピア横浜。 ３）大串潤児［単独］「基調報告」第４回「満蒙開拓青少年義勇軍」シンポジウム　満州へ行くとは何だったのか―少年達の憧れと現実」，2013年10月５日，於・高校会館（長野市）。 ⑥１）大串潤児［単著］「地域から問いなおす「構造改革」と「新保守主義」―東京・2013・２・11集会の記録」『歴史学研究月報』№640，2013年４月，４～６頁。

佐藤全敏

②１）「弾正台研究についての覚書」（『信州大学人文学部　人文科学論集』〈人間情報学科編〉47，165-168頁，３月）［単著］ ２）「信濃国伊賀良荘光明寺と二つの経筒（上）」（『信濃』65-12，17-28頁，11月）［単著］ ⑤１）「信濃史料のポテンシャル」（東京大学史料編纂所・長野県立歴史館共同研究報告「信濃古代史の再構築に向けて２」，３月９日，長野県立歴史館）［単独］ ２）「観心寺如意輪観音像　再考」（日本史研究会大会共同研究報告援助報告会②，９月22日，京都市機関誌会館）［単独］ ３）「宇多天皇の文体にみる倭と唐」（歴史学研究会日本古代史部会11月例会，11月16日，國學院大學）［単独］ ４）「観心寺如意輪観音像　再考」（独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所所内研究会，12月６日，東京文化財研究所）［単独］ ⑥１）「歴史と美術の間２―橘嘉智子と法華寺十一面観音像」（社団法人金鵄会公開講座「古典を読む」，７月27日，長野高校金鵄会館）［単独］

株丹洋一

⑥１）平成24年度図書館文学講座「童話『眠れる森の美女』のルーツをたどって」，2013年２月３日，信州大学出前講座，中野市立図書館［単独］ ２）平成25年度教員免許状更新講習「グリム童話のルーツを探る」，2013年８月17日，信州大学人文学部［単独］

吉田正明

④「エディット・ピアフとジャック・ブルジャ」（『ふらんす』「特集，エディット・ピアフ没後50年」依頼原稿，2013年10月号，pp.15-16）［単著］ ⑤「ベルエポック期のシャンソン誌 Paris qui chante について」（第22回シャンソン研究会，於信州大学人文学部，2013年11月９日）［単独］ ⑥１）「フランス文学者が語る葡萄酒の魅力」（平成25年度安曇野市民大学講座第１回，９月19日，於豊科ふれあいホール） ２）シャンソン研究会代表としてシャンソン研究会主催「第21回シャンソン研究会」（2013年６月29日，於関西学院大学大阪梅田キャンパス），「第22回シャンソン研究会」（2013年11月９日，於信州大学人文学部） ３）依頼講演「学部改組を行うに当たって」（2013年７月18日，於信州大学農学部） ４）フランス語フランス文学会中部支部会主催（2013年９月28日，於信州大学人文学部） ５）科学研究費助

成事業（学術研究助成基金）（基盤Ｃ）（平成25年度～平成27年度）による研究課題「文芸キャバレーにおける文学とシャンソンの影響関係」（課題番号25370346）を研究代表として実施

伊藤加奈子
②“還好”の副詞的用法について　信州大学『人文科学論集』〈文化コミュニケーション学科編〉47号，2013，pp.31–43。［単著］

氏岡真士
②１）「両部平話與《通鑑綱目》」（『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第47号，45–60頁）［単著］　２）「『杜騙新書』と『金瓶梅』」（『饕餮』第21号，50–69頁）［単著］

鎌田隆行
② «Une double genèse et ses effets. La construction des paroles de Nucingen dans *César Birotteau* et *La Maison Nucingen*», 信州大学『人文科学論集』〈文化コミュニケーション学科編〉，第47号，2013，pp.61–74。［単著］　④１）書評「アンカ・ミュルシュタイン著・塩谷祐人訳『バルザックと19世紀パリの食卓』」，週刊読書人，2013年４月12日号，p.5。［単著］　２）コラム「シャンソン研究会」，長野日仏協会会報『サ・ヴァ！』vol.51，2013，p.2。［単著］　⑤「バルザックにおける「全集」と「知」」，南山大学地域研究センター共同研究「19～20世紀のヨーロッパにおける科学と文学の関係」第３回シンポジウム，2013年３月29日，南山大学［単独］　⑥１）学会運営：日本フランス語フランス文学会中部支部大会（2013年９月28日，信州大学人文学部）。　２）学会司会：第21回シャンソン研究会（2013年６月29日，関西学院大学大阪梅田キャンパス）。　３）学会司会：国際シンポジウム「書物による歴史」（2013年９月23日，神戸大学文学部）。　４）学会司会：第22回シャンソン研究会（2013年11月９日，信州大学人文学部）。　５）Groupe International de Recherches Balzaciennes（国際バルザック研究会）執行部メンバー（2008年３月～）。　６）日本フランス語フランス文学会　学会誌編集委員（2011年４月～）。　７）シャンソン研究会　参与（2011年10月～）。　８）科学研究費補助金（基盤研究Ｃ）「バルザック『セザール・ビロトー』の生成批評版の構築」（2012年～2015年，研究課題番号24520344）研究代表者。

澁谷豊
⑤「フランス現代小説と第二次世界大戦の表象――イレーヌ・ネミロフスキー『フランス組曲』をめぐって」（現代フランス小説研究会，８月９日，東京工業大学）

野津寛
① *La tour: grammaire française de base et conversation*『ラ・トゥール―フランス語初級文法と会話（CD 付）』，2013年２月［共著］　⑤１）«Le latin: produitlittéraire d'un bilinguisme»「バイリンガズムの文学的産物としてのラテン語」，2013年11月２日，日仏ギリシア・ローマ学会，アテネフランセ［単独］　２）「ラテン語：ヨーロッパを造った言語」，自由学園公開

講座，2013年11月９日，12月14日。 ⑥１）日仏ギリシア・ローマ学会事務局長として講演会を主催，2013年２月９日，アテネフランセ， ２）日仏ギリシア・ローマ学会事務局長として講演会を主催，2013年11月２日，アテネフランセ。 ３）日本学術会議「公開シンポジウム：グローバル化社会における伝統知と古典教育の意義を探る」において，葛西康徳氏の発表「グローバル社会と哲学・古典―国家公務員試験改革」の一部を担当，2013年11月23日，中村元記念館（島根県松江市）。

磯部美穂

①［共著］『グローバル人材育成のための語学教育の可能性』（花崎美紀・磯部美穂他）ブイツーソリューション（2013年３月発行） ②１）［単著］Nominalstil in der sprachhistorischen Entwicklung. Eine Analyse von Predigten Meister Eckharts.（信州大学人文学部人文科学集〈文化コミュニケーション学科編〉第47号，75–86頁）（2013年３月発行） ２）［単著］「テキスト理解を妨げる語学教育―日本人ドイツ語学習者からみるドイツ語習得プロセスを例に」（『グローバル人材育成のための語学教育の可能性』，87–103頁）（2013年３月発行） ３）［単著］「マイスター・エックハルト説教集における動詞派生の抽象名詞について」（日本独文学会北陸支部会誌『ドイツ語文化圏研究』第10号，75–95頁）（2013年12月１日発行） ⑤［単独］Eine Entwicklungsstufe im Ausbau des deutschen Wortbildungssystems.（シンポジウム Sprache an medial-technischen Schwellen. Die Sprache ändert sich, aber wie?）（日本独文学会，2013年９月28日，北海道大学）

清水明

②「『大佐の奥方』における主人公の愛人をめぐって」（*Cap Ferrat* 第10号，日本モーム協会，2013年３月，72–78頁）［単独］

杉野健太郎

①１）単編著書（学術研究書）『交錯する映画 ― アニメ・映画・文学』，ミネルヴァ書房，映画学叢書（加藤幹郎監修），2013年１月25日（ISBN-13: 978-4623064878）［単編著］ ２）共著（学術基礎書）諏訪部浩一編『アメリカ文学入門』，三修社，2013年11月25日（ISBN-13: 978-4384057485）［共著］ ⑤学会シンポジアム 部会Ａ「連続企画 アメリカの教え方（教科書を作る）」，アメリカ学会第47回年次大会，2013年６月２日，東京外国語大学，司会・報告貴堂嘉之（一橋大学），鳥越泰彦（麻布高等学校），渡辺靖（慶應義塾大学）と［共同］。個人タイトル「初学者のためのアメリカ研究教育 ―『アメリカ文化入門』（三修社）2010年」 ⑥１）記事「ギャツビーとアメリカ」，映画『華麗なるギャツビー』劇場用プログラム（宮部さくや［松竹］編集），松竹株式会社，2013年６月11日発行）所収［単著］ ２）学会役員：日本映画学会常任理事・事務局長，日本英文学会中部支部編集委員会委員長・運営委員，日本スコット・フィッツジェラルド協会幹事（2013年７月まで）・再生委員会委員（2013年７月から）。 ３）研究者受け入れ：平成24年度（2013年１月～３月），新田玲子氏（広島大学文学研究科教授）

伊藤盡
②１）荻原規子の神話ファンタジーの中の〈夢〉と〈名前〉『ユリイカ：詩と批評』（2013年４月号）139–50.　④１）（単著）「イングランドから北海沿岸文化を訪ねよう：ヴァイキングの歩みとともに」（第５回）「スウェーデンとイングランド：冒険・伝説・神話の舞台へ」『英語教育』（2013年２月号）1–4.　２）（単著）「イングランドから北海沿岸文化を訪ねよう：ヴァイキングの歩みとともに」（第６回）「デンマーク。イングランドに最も近しい北欧」『英語教育』（2013年３月号）：1–4.　３）（単著）「ゲルマン語派文献学者（？）としてのトールキンの〈相〉」『三色旗』（2013年５月号　特集「トールキンの三相」）10–16.　⑤１）研究発表（単独）‘Historicity of the Cumbrian Dialect of English: Dialectizing Process through Language Contact’. The 21st International Conference on Historical Linguistics 於 IFIKK, Universitetet i Oslo　2013年８月８日　２）研究発表（単独）‘Búri as *deus terra editus* and þórr as *Iarðar burr*: The Earth-born Gods in the Scandinavian Mythology Revisited’. International Workshop: Old Icelandic Texts in Medieval Europe　於立教大学池袋キャンパス　2013年11月25日　３）シンポジウム（共同）「善きヴァイキングとの出逢い：英語史・中世イングランド史における北欧人の役割」総論：伊藤盡（信州大学）；パネリスト：松瀬憲司（熊本大学），小澤実（立教大学）伊藤盡；ディスカッサント：横田由美（東京家政大学）第29回日本中世英語英文学会全国大会　於愛知学院大学日進キャンパス　2013年11月30日　４）研究発表（単独）「中世ノルウェー語と中世英語の言語接触：ブリテン島北西部におけるノルウェー人から見た言語変化」第29回日本中世英語英文学会全国大会　於愛知学院大学日進キャンパス　2013年11月30日　５）研究発表（単独）「トールキンの『アーサー王の死』と頭韻詩の伝統」国際アーサー王学会日本支部2013年次大会　於慶應義塾大学日吉キャンパス　2013年12月17日　⑥１）出張講義（単独）「中世英語文献学　と　現代英語教育：『ベーオウルフ』からアーサー王―で，『ホビット』がどうしたって？(-_-#;;)」愛知教育大学英語専攻・専修主催2013年度英語学術講演会　11月８日於愛知教育大学　２）翻訳監修（共同）映画『ホビット：思いがけない冒険　エクステンデッド・エディション DVD/Blu-ray』（ワーナー・ホーム・ビデオ）（辺見葉子，伊藤盡，高橋勇）2013年11月13日

花﨑美紀
①１）『グローバル人材育成のための語学教育の可能性』ブイツーソルーションズ［共著］　２）『パターンで学ぶ英会話：英語の型を覚えよう！』ブイツーソルーションズ［共著］　②１）「Should の意味論」『グローバル人材育成のための語学教育の可能性』pp.43–64.　２）「Onomasiological な観点からの前置詞 For の意味論」『中部英文学』32号．pp.121–124.　３）「To の意味論」日本英文学会中部支部大会 Proceedings. pp.169–170.　４）「To の意味論：英語教育への応用を目指して」『日本英文学会中部英文学』６号．　⑤１）「At の意味論」 中部英文学会第65回大会　2013年10月５日．椙山女学園［共同］　２）「Have の認知的な理解モデルとその考察」中部英文学会第65回大会　2013年10月５日．椙山女学園大学［院生発表共同］　３）「英語の未来表現の多様性とその多義を生じさせる条件の考察およびその効果的な教育法」中部英文学会第65回大会　2013年10月５日．椙山女学園大学［院生発表共同］　４）「英語らしい英語と英語から考える多様性」インターアクト地区大会講演。2013年７月

21日．松本大学［単独］　⑥１）「英語から多様性を考える研究者」市民タイムズ　２）「英語らしい英語と英語から考える多様性」インターアクト長野支部会報　３）日本英語学会大会準備委員会委員　４）日本英文学会中部支部理事

沖裕子
①熊谷康雄編『大規模方言データの多角的分析　成果報告書―言語地図と方言談話資料―』国立国語研究所，183pp.（「大規模方言談話資料にみる受話法の地域差」pp.33–58［単著］）
②１）「終助詞を用いた推量表現―談話論による松本方言の分析―」（『人文科学論叢〈文化コミュニケーション編〉』第47号，pp.1–14）［単著］　２）「談話論からみた句末音調の抽出」（『国立国語研究所論集』第５号，pp.77–94）［単著］　３）「談話種変換からみた日本語談話の特徴―わきまえ・察し・見立て・仕立て―」（『明海日本語　第18号増刊号　井上史雄先生古希祝いオンライン論文集』明海大学日本語学会，pp.223–237　http://www.urayasu.meikai.ac.jp/japanese/meikainihongo/18ex/default.htm）［単著］　④「書評　井上史雄著『経済言語学論考―言語・方言・敬語の値打ち―』」（『日本語の研究』第９巻３号，日本語学会学会誌，pp.90–95）［単著］　⑤科研ソウル会議開催，2013年８月９日～12日，於韓国カトリック大学　⑥１）日本語教育学会学会誌査読協力者　２）日本語学会評議員　３）社会言語科学会研究大会発表賞選考委員（2011年４月～2013年３月）　４）社会言語科学会第32回研究大会実行委員長（2013年９月７，８日於信州大学人文学部）　５）韓国日本語学会理事（2013年９月～）　５）国立国語研究所独創・発展型研究プロジェクト「大規模方言データの多角的分析」共同研究者（～2013年３月）　６）国立国語研究所基幹研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」共同研究者　７）日本学術振興会科学研究費基盤研究Ｃ・課題番号24520498「発想と表現からみる日本語談話の対照談話論的研究」研究代表者

山田健三
②１）「「草仮名」名義考」（単著）平成25年３月　『国語語彙史研究・三十二』和泉書院　２）「書記用語「万葉仮名」をめぐって」（単著）平成25年３月　『信州大学人文学部人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』第47号　３）「仮名をめぐる歴史上の書記用語・再考」（単著）平成25年９月　『日本語学』（明治書院）平成25年９月号　⑥１）日本語学会編集委員（2013年６月～2016年５月）　２）日本学術振興会科学研究費助成（挑戦的萌芽研究）「「平仮名」の言語史的意味と変遷の解明を中心とする日本語書記技術史研究」（課題番号2465209100）研究代表者

渡邉匡一
⑤「諏訪における真言宗以前―鎌倉～南北朝期の寺院展開―」（シンポジウム「諏訪信仰と伝承文学」（伝承文学研究会，９月７日，長野短期大学）［単独］　⑥１）説話文学会委員（平成19年10月～27年９月）　２）仏教文学会委員（平成22年４月～26年３月）

坂口和寛
②「日本語母語話者の類義語分析における正用例文分析の特徴と問題点―「映像化ストラテ

ジー」による例文分析について」『信州大学国際交流センター電子紀要』論文番号６，pp.1–13，平成25年３月

白井純
②１）「キリシタンの日本語学習」（修剛・李運博主編『新時代的世界日語教育研究 Research on the International Japanese Education of the Modern Days』高等教育出版社）2012（* 追加）［単著］　２）「キリシタン文献と日本語研究」（韓美卿編『日本語学・日本語教育学』J&C）2013［単著］　３）「キリシタン語学全般」（豊島正之編『キリシタンと出版』八木書店）2013. 10［単著］　⑤１）講演「キリシタン版の印刷技法と言語規範」北海道大学国語国文学会平成25年度大会（札幌）2013. 7. 13［単独］　２）講演「キリシタン版の印刷技法」東洋文庫東洋のコディコロジー「非漢字文献」―文理融合型東洋写本・版本学（講習会）―（東京・東洋文庫）2013. 10. 18［単独］

松本和也
①１）『川上弘美を読む』（水声社，268頁）［単著］　２）坂口安吾研究会編『坂口安吾復興期の精神　〈いま〉安吾を読むこと』（双文社出版，205頁）［共著］　②１）「大正末における石井鶴三と中里介山の関わり――雑誌『婦人之友』と「小野の小町」挿絵をめぐって」（『信州大学附属図書館研究』，第２号，信州大学附属図書館，pp.21–35）［単著］　２）「新体制（言説）のなかの太宰治「清貧譚」――菊を作ること／売ること」（『人文科学論集〈文化コミュニケーション学科編〉』，第47号，信州大学人文学部，pp.159–174）［単著］　３）「尾崎士郎『去る日来る日』・『高杉晋作』執筆事情一面――新出石井鶴三宛書簡から」（『文芸研究』，第175集，日本文芸研究会，pp.1–12）［単著］　４）「“書くこと”をめぐる小説のなかの小説（家）――小川洋子『原稿零枚日記』・『密やかな結晶』（下）」（『季刊現代文学』，第86号，「現代文学」編集委員会，pp.81–97）［単著］　５）「書かれた日記について書く小説――青山七恵『やさしいため息』」（『ゲストハウス』，第５号，『ゲストハウス』編集部，pp.20–28）［単著］　６）「日中戦争開戦直後・文学（者）の課題――小田嶽夫「泥河」・「さすらひ」を視座に」（『太宰治スタディーズ』，別冊第１号，「太宰治スタディーズ」の会，pp.26–39）［単著］　７）「忘却への抵抗／差異の承認――日韓共同制作『焼肉ドラゴン』の方法」（『立教大学日本文学』，第110号，立教大学日本文学会，pp.181–193）［単著］　８）「形式のショーケース――マルチ視点ミステリー・湊かなえ『告白』」（『ゲストハウス』，臨時増刊号ｖ，『ゲストハウス』編集部，pp.14–25）［単著］　④１）「新刊紹介　岡室美奈子・梅山いつき編『六〇年代演劇再考』」（『演劇学論集』，第56集，日本演劇学会，pp.155–156）［単著］　２）「安吾作品ガイド100」（『文芸別冊　坂口安吾』，河出書房新社，pp.225–250）［共著］　⑤１）「〈痕 - 跡〉をめぐって――「焼跡のイエス」再検討」（第15回石川淳研究会，2013年３月９日，青山学院大学）［単独］　２）「「挿絵事件」をめぐる報道と論点――「挿絵著作権をめぐる石井鶴三・中里介山の論争への新視点」中間報告」（第２回「挿絵と小説」研究会，2013年３月10日，コラボ産学官プラザ in TOKYO）［単独］　３）「昭和一〇年代の堀辰雄」（昭和10年代研究会・準備研究会１，2013年９月13日，愛知県立大学）［単独］　４）「〈太宰治的語り手〉の話法と戦略――書物としての太宰治『佳日』」（「太宰治スタディーズ」の会，

2013年９月29日，コラボ産学官プラザ in TOKYO）［単独］ ⑥１）「平成24年度高齢者大学校「板橋グリーンカレッジ」後期文学科：太宰治『人間失格』を読む」（板橋区，2013年１月31日・２月７日・14日・21日，板橋区グリーンカレッジホール）［単独］ ２）「岩波茂雄ゆかりの『こころ』を読む～近代日本文学の楽しみ方～」（平成25年度諏訪市教育委員会「生涯学習講演会」，2013年６月29日，諏訪市図書館）［単独］ ３）「さまざまなパワー～太宰治「男女同権」を手がかりに～」（松本市企業人人権啓発推進連絡協議会，2013年８月29日，M ウイング）［単独］ ４）「小栗風葉「深川女房」の作品世界」（小栗風葉をひろめる会・秋期文学講演会，2013年９月８日，半田市福祉文化会館）［単独］ ５）「平成25年度高齢者大学校「板橋グリーンカレッジ」後期文学科：震災後の文学 宮澤賢治と川上弘美」（板橋区，2013年９月11日・10月２日・16日・30日，板橋区グリーンカレッジホール）［単独］

速水香織

⑥１）『朝鮮征伐記』翻刻・解題（『假名草子集成』第50巻，東京堂出版，pp.1−146，311−315，柳沢昌紀編，2013・11・25［単著］） ２）『八文字屋本全集 総索引』編集協力（長谷川強監修，2013・３・29） ３）くわな市民大学文化科「『平家物語』を読む」（桑名市中央公民館，全７回2013・５～12［単独］） ４）皇學館大学人文學會編集委員（2013・４～９） ５）皇學館大学人文學會学外委員（2013・10～現在に至る） ６）国文学研究資料館国文学文献資料調査員（2013・４～現在に至る） ７）日本学術振興会科学研究費若手研究Ｂ・課題番号23720123「元禄期の江戸における浮世草子及び俳諧ネットワークの研究―出版文化を基盤として―」研究代表者